

「住まいの設備」環境への配慮と省エネ性能を考慮した住まいづくり。

講師 石丸 正己

快適な住まいをつくる為に、環境への配慮と省エネ性能を考慮した
「住まいの設備」について学びます。

法改正により4月から運用される省エネ基準適合義務化は、建物を外皮性能(断熱)と設備機器の1次エネルギー消費量で評価します。

どのような設備を計画するかはこれからの住まいづくりにおいて極めて重要となります。

- 1、 講座では住宅用設備の種類と概要を一覧表にまとめたテキストを使い、「住宅用設備」の全体像を把握します。
- 2、 次に住宅におけるエネルギー消費の大半を占める冷暖房と給湯設備について、環境負荷との関係をグラフの比較で考えます。
- 3、 また、再生可能エネルギーとはどういうものか、省エネ性能とはどういうことかを学習します。
- 4、 具体的に「一次エネルギー消費量」を抑える設備として
 - 熱交換型換気扇(ロスナイ)
 - 潜熱回収型ガス給湯機(エコジョーズ)
 - 太陽光発電
 - 太陽熱温水器これらの仕組みを学びます。
- 5、 さらに、これらの省エネ設備を導入する場合の助成金制度や、高さ制限などの緩和措置について紹介します。